

令和元（平成31）年度 「地（知）の拠点整備事業」後継事業 取組報告

平成25年度から実施してきた「地（知）の拠点整備事業」障がい者支援領域では、障害者を含め、地域を構成する人々が、相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える共生社会の実現に向けて活躍できる人材育成に取り組んできました。

特別支援教育学講座では、「教養ゼミ」「職場体験学習ボランティア」「特別支援教育サポーター派遣事業」を中心に、引き続き「地域」の課題を共に考え、解決を目指そうとする人材育成をねらいとした取り組みを行っています。

令和元（平成31）年度の取り組みとして、以下の4つを実施しました。

- (1) 教養ゼミ・・・広島大学教育学部特別支援教育学講座教員が担当する講義です。「広島県手をつなぐ育成会」の協力を得た授業も実施しました。
- (2) 職場体験学習ボランティア・・・附属東雲中学校特別支援学級2年生の職場体験学習を受け入れました。
- (3) 特別支援教育サポーター派遣事業・・・東広島市教育員会と連携して実施しました。
- (4) 学生子育て応援隊活動・・・東広島市こども未来部と連携して実施しました。
- (5) ひろしま平和共生リーダー概論・・・学術・社会連携室と連携して実施しました。

以下、実施内容の概要について報告します。

教養ゼミ

視覚障害者の支援に関する体験型学習

平成 31 年 4 月 24 日に森まゆ先生による授業を行いました。
盲の方に対してメニューブックの内容をどのように伝えるかをグループで話し合ったり，わかりやすい手引き（ガイド）について考えたり，アイマスクを用いて視覚障害の疑似体験をしながら学内を歩行したりしました。



知的障害のある人の支援について

令和元年 5 月 8 日に広島県手をつなぐ育成会「あび隊」の皆様による授業を行いました。
知的障害児者の感じているコミュニケーション上の課題」について考えるワークショップを行ったり，知的障害や自閉症の子どもを育てる保護者の方のお話を伺い，障害者を取り巻く現状について考えたりしました。



聴覚障害者の支援に関する体験型学習

令和元年 5 月 15 日に林田真志先生による授業を行いました。
「聞こえにくさ」を体験するために，特別なヘッドホンを着用し，騒音提示下でことばの聞き取りやキーワード説明，ディスカッションに取り組み，難しい点や必要な支援について理解を深めました。



肢体不自由者の支援に関する体験型学習

令和元年 5 月 29 日に船橋篤彦先生による授業を行いました。
車いすを用いた学内の移動や，階段の昇降補助を通して，「環境がもたらす障壁」について気づくことができました。また，病気と障がいの違いについて考えたことについて意見交換をし，これからの大学生活で自分にできることは何かを考えました。



職場体験学習ボランティア

職場体験学習ボランティアでは、特別支援学級に在籍する中学生が広島大学キャンパスで行う、「職場体験」のサポートを行うものです。「職場体験学習」では、特別支援学級の生徒たちが学校の外に出て実際に働くことを体験する中で、働くことの厳しさや楽しさ、社会人としてのマナーやルールを学びます。

令和元年7月10、11、12日の3日間にわたり、附属東雲中学校特別支援学級2年生6名による職場体験学習を実施しました。広島大学のべ10名の学生がジョブサポートティーチャー（ボランティア）として生徒と一緒に活動を行いました。体験内容は、中央図書館での書庫配架等、社会科学研究科棟の廊下や階段の清掃等、植物園での農作業等でした。



特別支援教育サポーター派遣事業

特別支援教育サポーターとは、支援要請のあった学校に訪問する「学生ボランティアによる特別支援教育に関するサポーター活動」のことです。LD，ADHD，高機能自閉症，聴覚障害等の特別な支援を必要とする子どもたちが在籍する学級において，担任の先生のアシスタントとして，子どもたちの学習や活動がスムーズに行えるような支援のお手伝いをします。サポーターは，事前研修を受けた後，活動を開始します。

本事業は，「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築」のための東広島市教育委員会との連携事業です。今年度は，10名の学生が6校の小学校と2校の中学校において活動に取り組みました。

学生子育て応援隊活動

学生子育て応援隊は、東広島市が行う講演会や研修会などの託児室などで、学生が託児を行う団体の方々と一緒に託児室に入り、子ども達とふれあう事業です。普段、なかなか幼い子どもと直接関わりがない学生にとって、よい機会となりました。

今年度は、1名の学生が健診事後教室に参加するなどして活躍しました。

ひろしま平和共生リーダー概論

ひろしま平和共生リーダー概論は、「全ての人が共生できる社会」の実現に向けて身近な地域で課題解決に主体的に取り組むことのできる人材：「ひろしま平和共生リーダー」の育成を目指して、地域課題の理解やその解決に取り組む授業です。

令和元年7月22日に、「障害とはなんだろうか(1) 障害の捉え方(2) 障害者への関わり方」と題して、谷本忠明先生による授業が行われました。障害に関する定義や法律などを参考に障害とは何かを考えたり、障害者に関する動画を見て私たちに求められること、私たちにできることは何かを考えたりしました。